

平成30年11月29日

地域振興課
担当：藤井
内線：3685
直通：076-225-1335

平成30年度石川地域づくり表彰受賞団体等の決定等について

本県では、地域づくり活動の一層の活性化を図るため、住民主体で先進的な地域づくりに取り組んでいる団体・個人を知事表彰することとしております。

このたび、今年度の受賞者を次のとおり決定しましたので、お知らせします。

※ 本表彰は平成9年度から開始し、当初は隔年で実施、平成21年度から毎年実施。

1. 受賞者

団体部門	大賞	・能登島地域づくり協議会（七尾市）
	優秀賞	・合同会社のとしし団（羽咋市）
	奨励賞	・鳥越ワカモノの会（白山市）
個人部門	・岩本 歩弓 氏（金沢市）	

2. 審査について

市町からの推薦があったものについて、石川地域づくり表彰審査委員（谷本互座長、以下4名で構成）による書類審査及び審査委員会を実施し、先進性・独自性、継続性、発展性、自主性、協働性・連携性、効果の6つの観点から審査した上、受賞者を決定しました。

3. 主催及び後援

主催：石川県

後援：石川県市長会、石川県町村会、石川地域づくり協会

4. 表彰状授与式

日時：平成30年12月2日（日）13時30分～（約30分）

会場：公立小松大学中央キャンパス 305・306講義室

（小松市土居原町10-10）

地域づくり研修交流会「いしかわ地域づくり円陣2018」の席上にて

平成30年度石川地域づくり表彰受賞者概要

団体の部

【大賞】

○能登島地域づくり協議会（平成20年7月設立、七尾市）

代表 米田 晴行（よねだ はるゆき）

<活動概要>

- 豊かな能登島暮らしを維持していくため、町会や商工会、観光協会、社会福祉協議会や農協、漁協など幅広い島内の組織や住民が協議会の下で連携し、住民主体で目標や課題を共有しながら様々な取り組みを推進している。
- 具体的には、島民の絆を深めるための全島民参加イベント「能登島ふれあいまつり」の開催のほか、地域の特性を活かした交流人口拡大や生業創出に向け、休耕田を活用した酒米の栽培・日本酒の開発のほか、豊かさなどを意味する「まあそい」をブランド名にした、島暮らしを体験するツアー開催などのスローツーリズムの推進や島の食材を用いた加工品開発などを展開している。

【優秀賞】

○合同会社のとしし団（平成29年12月設立（活動開始は平成27年10月）、羽咋市）

代表：加藤 晋司（かとう しんじ）

<活動概要>

- 獣害対策のため捕獲したイノシシを地域資源として活用できないかという思いから、羽咋市との連携の下、平成27年に整備された獣肉処理施設を活用し、イノシシの捕獲から処理、精肉への加工や販売を実施。
- イノシシ肉の処理量・売上高は順調に拡大しているほか、道の駅で販売する加工品の開発や、ドッグフード、これまで廃棄されてきた皮を加工した革製品の開発・商品化などにも取り組んでいる。

【奨励賞】

○鳥越ワカモノの会（平成27年7月設立、白山市）

代表 田原 康成（たはら こうせい）

<活動概要>

- 白山市旧鳥越村の地域を盛り上げたいという想いのある10～20代の若者約30人が集まり設立。
- 「鳥越一向一揆まつり」をはじめとする地域のイベントの企画などに積極的に参画し、白山麓のイノシシ肉や鳥越地区の名物であるそばなどを活用した地産地消メニューの考案・提供しているほか、白山麓の他地区の若者同士で定期的に地域活性化についての意見交換などを行っており、過疎が進む地域の活性化や、これまでイベント運営の主体となっていた地域住民への刺激につながっている。

個人の部

○岩本 歩弓（いわもと あゆみ）

<活動概要>

- 平成18年に地元目線で金沢の日常にある魅力を紹介するガイドブック『乙女の金沢』を発行。その後、自ら築き上げた若手工芸作家や個人商店、デザイナーなどとの幅広いネットワークを活かし、県内の魅力ある工芸品や雑貨、食べ物等を展示販売する企画「乙女の金沢展」を平成20年から全国各地で開催している。
- この他にも、工芸品や食の作り手自らが販売を手掛ける野外イベント「乙女の金沢 春ららら市」を平成23年以降金沢市の中心部で毎年開催し、2日間の開催で約17,000人を集客するイベントにまでに成長させるなど、様々な企画を通じて、工芸をはじめとする石川や金沢の魅力を発信するための取組を拡大させている。